

ウラナミジャノメ

Ypthima multistriata nipponica

兵庫県：Bランク

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

種の概要

前翅長19～25mm程度。翅の地色は黒褐色で、前後翅ともに1個の眼状紋を備える。裏面には銀白色のさざなみ模様があり、前翅に1個、後翅に3個～4個の眼状紋を備える。草原や湿地に生息し、幼虫はササクサなどを食べる。年2化性で、成虫は6月～9月に見られる。



写真提供：近藤伸一

国内分布

本州、四国、九州、壱岐、対馬、屋久島

県内分布記録

神戸市、西宮市、芦屋市、川西市、三田市、猪名川町、明石市、加古川市、高砂市、西脇市、三木市、小野市、加西市、姫路市、神河町、相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、佐用町、豊岡市、養父市、朝来市、新温泉町、洲本市、南あわじ市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○		○		

特記事項

旧32市町に広く分布していたが、多くの生息地で1960～70年代に絶滅。2000年代に記録があるのは4市である。ヒメヒカゲと同様に開発行為による湿地の消滅や生息地の孤立化及び生息地のブッシュ化、森林化などで減少した。孤立化に対してはヒメヒカゲより抵抗性がある。

保護上の留意点

加古川市北部では、各種の調査、草刈り、枝打ち、間伐などを実施。